

HbA1cの表記について

1. 国際標準化に伴う表記法の変更

- 従来よりわが国で使用されているJDS値は、海外で使用されているNGSP値と比べ約0.4%低値となっており、整合性がとれないという問題点がありました
- そこで、2012年4月以降はわが国においてもNGSP値を使用するという指針が日本糖尿病学会より発表されました

2. NGSP値とJDS値の変換式

- NGSP値とJDS値は、以下の式で相互に正式な換算が可能です

$$\text{NGSP値 (\%)} = 1.02 \times \text{JDS値 (\%)} + 0.25 (\%)$$

$$\text{JDS値 (\%)} = 0.980 \times \text{NGSP値 (\%)} - 0.245\%$$

- なお、次のように換算することも可能です

《JDS値で4.9%以下》

$$\text{NGSP値 (\%)} = \text{JDS値 (\%)} + 0.3\%$$

《JDS値で5.0～9.9%以下》

$$\text{NGSP値 (\%)} = \text{JDS値 (\%)} + 0.4\%$$

《JDS値で10.0～14.9%以下》

$$\text{NGSP値 (\%)} = \text{JDS値 (\%)} + 0.5\%$$

3. 本書におけるHbA1cの表記

- 本書では、原則としてHbA1c (NGSP値) を用いています
- ただし、過去の和文文献から引用している場合はHbA1c (JDS値) と記しています

【文献】

- 1) 日本糖尿病学会発表の「日常臨床及び特定健診・保健指導におけるHbA1c国際標準化の基本方針及びHbA1c表記の運用指針」